

言葉を獲得していない時期の子どもの見方

～二項関係と三項関係について～

子どもの発達と環境との関わり方の変化

- 自分と環境との境界が曖昧で混沌としている状態
- ↓
- 【自分-物】または【自分-他者】の閉じられた関係
- ↓ **二項関係**
- ↓
- 【自分-物-他者】の三者の関係
- ↓ **三項関係 (8～9か月ごろ以降)**

二項関係を確かめるには？

- 好んで遊んでいる物を取り上げられた様子を観察する

ポイント (あなたには目もくれず)

- 泣く
- かんしゃくをおこす
- 玩具に直接手をのばす
- 応答なし

三項関係を確かめるには？

- 好んで遊んでいる物を取り上げられた様子を観察する

ポイント (あなたを見て)

- 声を出す
- 物を見る
- 物に手を伸ばす
- あなたと物と交互に見る

三項関係のコミュニケーション 共同注意(Joint attention)について

- 他者の行動の意図を理解し、注意を向けている物に対する態度を他者と共有すること

指差しや視線の動き
共感「ほらみて！」
確認「UFOだね！」
要求「あれとって！」

三項関係のコミュニケーション 共同注意(Joint attention)について

- 他者の行動の意図を理解し、注意を向けている物に対する態度を他者と共有すること

指差しや視線の動き
共感「ほらみて！」
確認「UFOだね！」
要求「あれとって！」

二項関係・三項関係かによって 支援は異なります

二項関係	三項関係
<ul style="list-style-type: none"> 因果関係に気づくことや物を介して他者の存在に気づくことが目標になる 行動と結果の関係が分かりやすいものを好む (触ったものがすぐ反応する) 好む刺激を大切にする (光る？音？振動？風？) 	<ul style="list-style-type: none"> 他者との関係において物を介した表出がより豊かになることが目標になる 好む刺激を大切にする (光る？音？振動？風？)

重度・重複障害のある子の実態把握の難しさ

複数の障害が重複しているとは？

- 視覚・・・物や人の像をとらえにくい
- 聴覚・・・物の音や人の声をとらえにくい
- 運動(肢体不自由)・・・手を伸ばす、指をさす、対象に顔を向けるなどが難しい
- 健康・・・パフォーマンスはその時の体調に左右される

↓

- 動きが微細で少なく、安定しにくい → 実態把握が難しい
- そこで

手法その1 アセスメントシートを使って 三項関係の理解度をチェック

【理解と表出のアセスメントシート】

分かること

- 二項関係や三項関係
- 反応を引き出しやすい刺激など

実施上のポイント

- 事前の情報収集
- 二項関係と三項関係を理解
- ONとOFFの意味

